

令和6年度
学校評価アンケート
分析と結果



我孫子市立湖北台東小学校



令和6年度 我孫子市立湖北台東小学校 学校評価分析

全体傾向と課題

各項目別の分析（各評価の割合は小数点以下四捨五入で処理をしているため、合計が99%にならないものがありますご了承ください。）

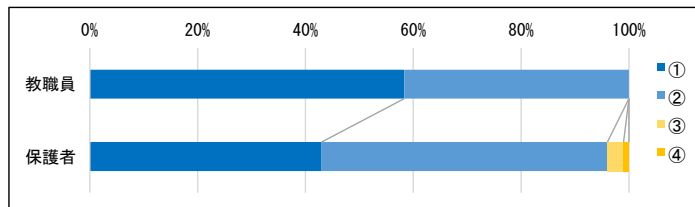
①
あては
まる

②
概ねあ
てはま
る

③
あまり
あては
まらない

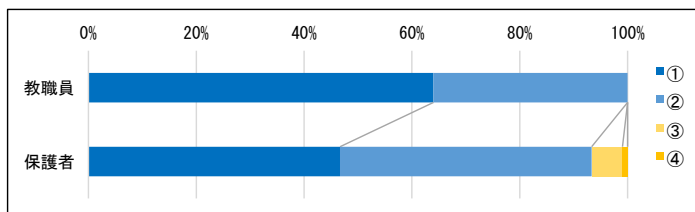
④
あては
まらない

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
1	教職員	学校は学校教育目標達成のために努力している。	3.58	3.50	3.50	58%	42%	0%	0%
	保護者	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.38	3.40	3.44	43%	53%	3%	1%



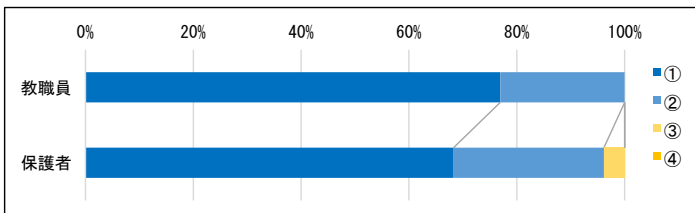
学校教育目標『活力のある学校』（精一杯遊び、互いのことを考え、思いやることのできる、子どもの育成）の達成努力への学校の取り組みに対し、保護者の平均評価は昨年度と同様多くの肯定的な回答（96%）をいただくことができた。学習参観・懇談会が増え、子どもたちが活躍する場面を見ていただく機会が増えたことも大きな要因と言える。教職員の平均評価も昨年度より0.08ポイント増えている。しかし、教職員自身①「あてはまる」の回答が58%というところは改善の余地がある。教職員が更に工夫・改善をしながらさらに評価が向上するよう、学校教育目標達成のためにこれからも全力を注いでいきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
2	教職員	学校は、教育内容や子どもたちの様子を積極的に保護者・地域に知らせている。（HPや学校だより等）	3.64	3.54	3.69	64%	36%	0%	0%
	保護者	学校は、日頃の子どもたちの様子や教育活動を保護者・地域に積極的に知らせている。（HPや学校だより等）	3.39	3.21	3.54	47%	47%	6%	1%



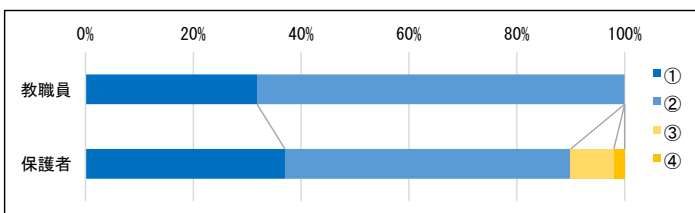
今年度は、学習参観も年間の回数を増やすとともに、学年単位で実施したスポーツ教室等にも保護者が積極的に参観できるようにした。毎日学校の児童の様子をホームページで知らせ、またより広く学校の様子を知ってもらうために地域に学校だよりを回覧するようにもした。保護者の回答は、平均評価の値は昨年度と比べ約0.2ポイント上がり、「③あてはまらない」が6%となっている点は昨年に比べ大きく前進した。児童の様子を保護者や地域の皆様が直接見ることや教職員と話す機会を増やしたことが大きな要因と考えられる。教育活動を家庭や地域に発信するようにこれからも創意工夫し努めていかなければならない。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
3	教職員	学校の職員は来校者や保護者に対して親切に対応している。	3.77	3.76	3.75	77%	23%	0%	0%
	保護者	学校の職員は、来校者や保護者に対し丁寧に対応している。	3.64	3.57	3.59	68%	28%	4%	0%



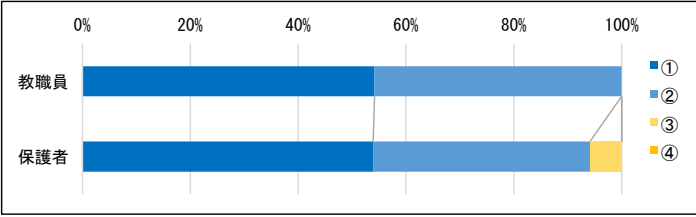
教職員の平均評価は0.01ポイント向上、職員全体が保護者の皆様や地域の皆様に丁寧に対応するように心がけた結果であると考えられる。保護者の皆様の平均評価も昨年度に比べ0.07ポイント増え、概ね肯定的な評価をいただくことができた。今後も教職員の挨拶や返答・服装等について常に見直ししながら、保護者や来校者に対し、教職員一同誠意をもって丁寧な対応を心掛けていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
4	教職員	学校の教職員は熱心で分かりやすい授業に努めている。	3.32	3.46	3.44	32%	68%	0%	0%
	保護者	学校の教職員は、分かりやすく楽しい授業に努めている。	3.25	3.32	3.36	37%	53%	8%	2%



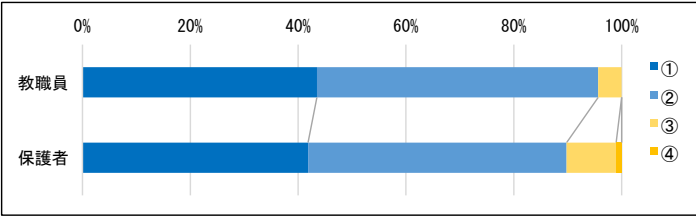
分かりやすい授業に関して平均評価の値は保護者も教職員も昨年度とほぼ同様概ね肯定的な評価であった。今年度も効果的なタブレットの活用の仕方を研究し、全学年において分かりやすい授業の実践のため教職員一同研修した成果がでてきたように思う。しかし、教職員の評価に比べ保護者の評価は肯定的な評価（①②合わせて90%）をいただいているものの（非肯定的な意見③④合わせて10%）低く、更に改善していくべきであると言える。子どもたちや教職員の取り組みを見ていただく努力も必要である。今後も児童がよくわかり、楽しいと思える授業ができるように更なる校内研修の充実にも努めていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
5	教職員	学校は体験的な学習（校外学習、キャリア教育、体験活動等）を通じて自然や人々と触れ合う機会を積極的に設けている。	3.54	3.43	3.25	54%	46%	0%	0%
	保護者	学校は、体験的な学習（校外学習、キャリア教育、体験教室等含む）を通じて自然や人々と触れ合う機会を積極的に設けている。	3.48	3.33	3.31	54%	40%	6%	0%
	児童	体験活動（野菜の皮むき、スポーツ教室、昔遊び、校外学習、キャリア教育、など）では積極的に取り組んだ。	3.58	0.00	0.00	62%	34%	4%	0%



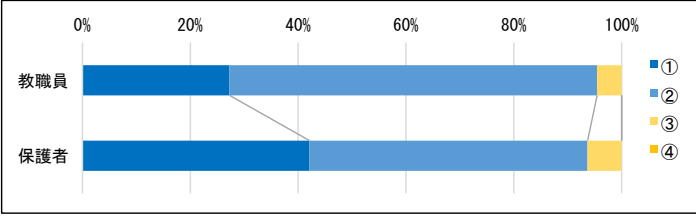
保護者の平均評価は0.15ポイント、教職員は0.11ポイント昨年度より上がった。今年度もPTAや社会福祉協議会等のご協力もあり、昔遊びや農業体験、タグラグビー教室や陸上教室等、体験活動を例年より多く実施することができたとともに多くの保護者に参観していただき子どもたちの頑張る姿を見ていただくことも増え、その成果が表れていると言える。授業でも花や野菜を育てたり、生き物を飼育したりする体験学習も多く取り入れている。今後も保護者の皆様や地域の皆様の協力をいただきながら、体験的な学習のよさを生かした学習を実践し、児童の「生きる力」の育成に努めていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
6	教職員	学校は清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.39	3.45	3.44	43%	52%	4%	0%
	保護者	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.31	3.38	3.35	42%	48%	9%	1%



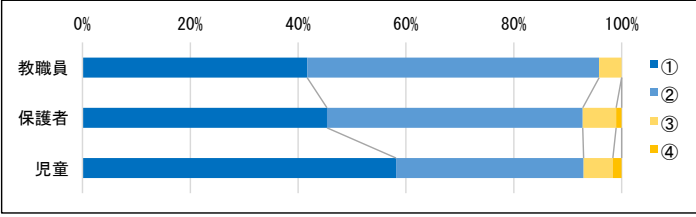
保護者の平均評価が昨年より0.07ポイント、教職員は0.06ポイント下がっているが、肯定的な意見は多かった。各学級担任や教職員が清掃指導を意識を持ってしっかり行った成果だと言えるが、教員自身の評価が下がっていることは反省点だと言える。しかし広い校舎敷地及び校庭等の屋外の敷地全てを十分に清掃していくことは難しい状況だが、児童は清掃活動に對し一生懸命に取り組んでいる。清掃の時間以外にも高学年児童を中心に落ち葉掃き等の奉仕活動に取り組んでいる。今後も清掃活動に加えて学校をきれいに大切に使う児童の姿勢を育てていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
7	教職員	学校は、防災・安全指導を積極的に取り組んでいる。	3.23	3.18	3.44	27%	68%	5%	0%
	保護者	学校は、防災・安全指導に積極的に取り組んでいる。	3.36	3.30	3.37	42%	52%	6%	0%
	児童	地震や火事などに備えて、学校の避難訓練に真剣に取り組んでいる。	3.72	0.00	0.00	77%	19%	3%	1%



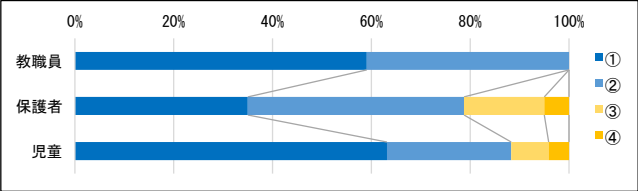
平均評価が教職員は0.05ポイント、保護者は0.06ポイント昨年度より上がっている。昨年度起きた能登半島地震の影響もあり、全体的に自然災害への危機管理意識が向上している。防災研修の実施は喫緊の課題である。消防署や地域の皆様の協力もいただきながら、防災教育を今一度しっかり行っていくとともに安全指導員の方々の協力も得て登下校指導、交通安全や不審者対策等の安全教育を行い、児童をけがや事故から守れるように努めていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
8	教職員	学校は、生徒指導（挨拶・返事・くつの整理等）に積極的に取り組んでいる。	3.38	3.45	3.13	42%	54%	4%	0%
	保護者	学校は、生徒指導（挨拶・返事・くつの整理等）に積極的に取り組んでいる。	3.37	3.44	3.43	45%	47%	6%	1%
	児童	お掃除・あいさつ・返事・くつの整理整とんをがんばっている。	3.49	3.31	3.37	58%	35%	5%	2%



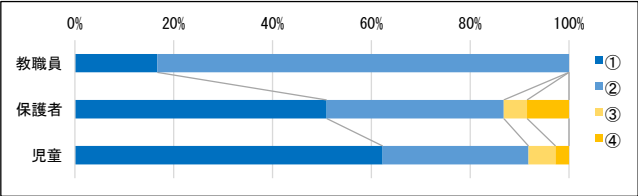
教職員、保護者の平均評価はともに昨年度より下がったが、児童の評価は0.18ポイント上がった。児童は受け身の児童が減り「進んでできる挨拶・返事」という点から評価が上がったと考えられる。折に触れ、あいさつをすることの大切さを伝え、自分から気持ちのよいあいさつができるように指導を続けていく必要がある。また、児童の生活指導を行い、基本的な生活態度を身につけられるようにする。また、くつの整理だけでなく、身の回りの整理整頓についても各学級で指導を行い、児童の意識を向上させ、実践できる子を育てていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
9	教職員	学校はいじめ等、生徒指導上の様々な問題に対し、児童に必要な支援を行っている。	3.59	3.64	3.56	59%	41%	0%	0%
	保護者	学校は、いじめ等生徒指導上の様々な問題に対し、児童へ必要な支援を行っている。	3.09	3.24	3.28	35%	44%	16%	5%
	児童	嫌なことされたり、困ったときに先生は相談にのり、いっしょに考えてくれる。	3.47	3.28	3.44	63%	25%	8%	4%



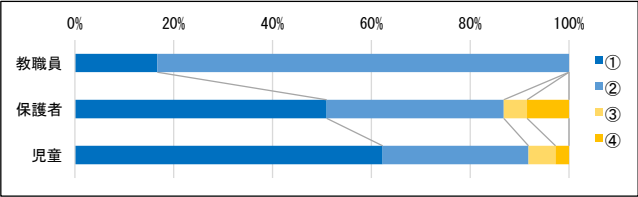
今年度も、いじめアンケートや学校生活アンケートをもとに、気になる児童に関しては個人面談を行った。また、3年生以上の全児童を対象にQ-U検査を実施し、いじめや悩みを抱える児童の早期発見と早期解決に努めた。平均評価では教職員が0.05ポイント、保護者が0.15ポイント下がった一方で、児童の評価は0.19ポイント上がっており、教師の平均評価と少し乖離が見られる。児童の評価が上がっているもののまだ12%の肯定的でない意見があること、保護者も③④の肯定的でない意見が合わせて21%あることをしっかり受け止め、保護者の皆様と連携を図り、児童一人一人を大切にし、真摯に向き合い対応していくことでより一層の信頼関係を築いていかなければならないと考えられる。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
10	教職員	湖北台中学校区では、小学校と中学校が連携し、小中一貫教育の充実に努めている。	3.15	3.08	3.06	20%	75%	5%	0%
	保護者	湖北台中学校区では、小学校と中学校が連携し、小中一貫教育の充実に努めている。	3.13	2.97	2.94	31%	53%	15%	1%



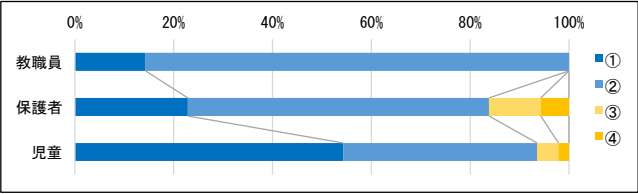
小中一貫教育の充実にに関して、保護者の皆様の評価は昨年度より大きく上がっているが、③「あまりあてはまらない」の項目に15%もの回答があったことは課題と言える。毎年、中学校区で3校共同の「教育ミニ集会」を行っているがこうした台中区の共同の取り組みを一層増やし充実を図っていく必要がある。またこうした取り組みを保護者の皆様に知っていただく努力を更にしていかなければならないと考えられる。3校の学校運営協議会の連携を深め、小中一貫教育としてどのような取り組みを行い、どのような成果があったかを保護者や地域に発信しなければならい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
11	教職員	児童は毎日学校に楽しく登校している。	3.17	3.25	3.31	17%	83%	0%	0%
	保護者	お子さんは、毎日楽しく学校に登校している。	3.29	3.21	3.45	51%	36%	5%	8%
	児童	毎日学校に楽しく登校している。	3.51	3.39	3.33	62%	30%	5%	3%



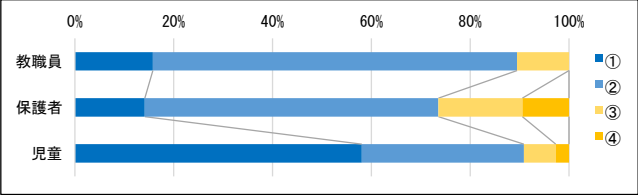
児童の評価が昨年度より0.12ポイント、保護者においても0.08ポイント上がって、「楽しく学校に通っている」という回答が多くなったことは大きな成果であると言える。しかし、児童の評価③「あまりあてはまらない」④「あてはまらない」を併せて8%の児童が「楽しい」といえない状況でいることは重く受け止めなければならない。行事の在り方や内容、学習における指導方法や取り組み方を振り返り、改善していくひつようがある。「よくわかる授業」「居心地のよい学校」「児童が主体となって取り組める学校行事」等の充実を目指し、どの児童にとっても「楽しく登校できる学校づくり」を推進していきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
12	教職員	児童は熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.14	3.23	3.20	14%	86%	0%	0%
	保護者	お子さんは、熱心に学習（授業）に取り組んでいる。	3.01	3.06	3.24	23%	61%	10%	6%
	児童	熱心に授業に取り組み、学習した内容を理解することができている。	3.46	3.21	3.32	54%	39%	4%	2%



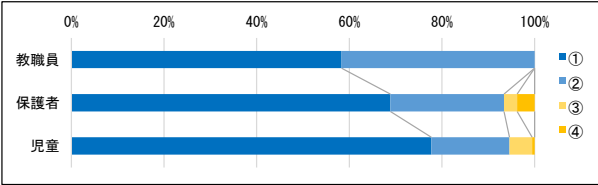
教職員の評価は昨年度と同じく評価①（あてはまる）②（概ねあてはまる）で100%の肯定評価となっており、教室では児童が熱心に授業に取り組んでいることがうかがえる。しかし、保護者の平均評価は①②合わせて84%と肯定的な評価が他の質問項目に比べ低く、大きな課題だと考える。教職員は児童が学習内容を理解し、自己肯定感を育むため「よくわかる授業」を実践できるように研修に一層励まなければならない。今年度は授業参観等保護者の皆様に学校での子どもたちの学習の様子を見ていただく機会を増やしたが、来年度も参観を増やしたり、HPや学級通信等、子どもたちの頑張る姿を学校としても発信したりする努力をしていかなければならない。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
13	教職員	児童は宿題や自主学習等の家庭学習に熱心に取り組んでいる。	3.05	2.88	3.13	16%	74%	11%	0%
	保護者	お子さんは、家で宿題や自主学習を積極的に行っている。	2.78	2.71	3.30	14%	59%	17%	9%
	児童	宿題や自主学習など家庭学習をがんばっている。	3.46	3.13	3.34	58%	33%	6%	3%



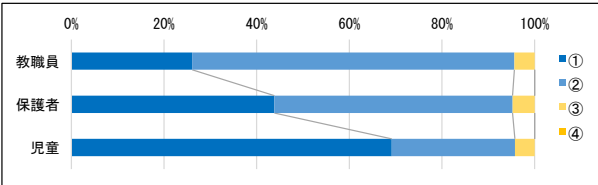
昨年度大きくポイントを下げたこの質問項目は、教職員の平均評価が昨年度より0.17ポイント、保護者のポイントは0.07ポイント、児童は0.33ポイント上がり、教員も児童も家庭学習への取り組みへの努力の成果が表れている。しかし、保護者の回答において③「あまりあてはまらない」④「あてはまらない」という回答が合わせて26%あることは改善していかなければならない課題と言える。学校も家庭との連携を図り取り組んでいかなければならなく、宿題以外の自主学習について学習時間の目安を示したり、学習内容の指導を行ったりして家庭学習の定着を図りたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
14	教職員	児童は学校行事（運動会・メロディーフェスティバル・校外学習等）に楽しく積極的に参加し活動している。	3.58	3.67	3.69	58%	42%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校行事（運動会・校外学習・メロディーフェスティバル等）に楽しく参加し積極的に活動している。	3.58	3.56	3.71	69%	25%	3%	4%
	児童	運動会やメロディーフェスティバルなど、学校行事に楽しく参加し活動している。	3.72	3.60	3.55	78%	17%	5%	1%



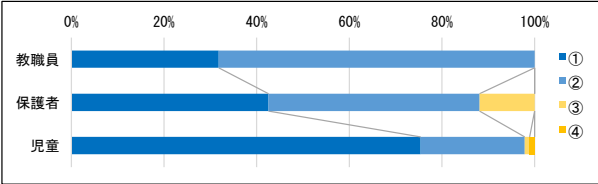
保護者は0.12ポイント、児童の評価は0.02ポイント昨年度より上がっており、行事ごとに児童が実行委員やその他の役割を果たして頑張った成果だと言える。しかしその反面、教職員は0.09ポイント下がっているが肯定的な回答①②を合わせて100%となっている。今年度は保護者が学校行事等参観していただく機会も増やしていったことも要因と言える。来年度も行事の内容や練習を工夫・改善し、児童一人一人が活躍できる行事になるように努めていき、児童の自己肯定感や自信を育んでいきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
15	教職員	児童は社会や学校のルールを守って生活している。	3.22	3.37	3.19	26%	70%	4%	0%
	保護者	お子さんは、社会や学校のルールを守って生活している。	3.39	3.42	3.41	44%	51%	5%	0%
	児童	社会（交通ルールなど）や学校のルールを守って生活している。	3.65	3.48	3.53	69%	27%	4%	0%



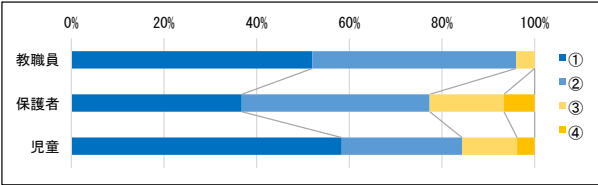
昨年度とは反対の結果で、教職員と保護者の平均評価がそれぞれ0.15ポイント、0.03ポイント下がり、児童の平均評価は0.17ポイント上がっている。教職員や保護者の評価が下がっていることを見ても、子どもたちのマナー面の育成の継続はしていかねばならない課題だと言える。児童の多くは基本的なルールやきまりを守って生活しようとしているが、時折自分の気持ちを優先してしまい、ルールから逸脱してしまうことも稀に見受けられる。これから大人へと育っていく子どもたちに、日常の生活指導や安全指導、保健指導等の充実をはかり、社会や学校のルールを守ることの大切さとその必要性をしっかりと指導していきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
16	教職員	児童は学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.32	3.25	3.27	32%	68%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.31	3.29	3.34	43%	46%	12%	0%
	児童	学校や学級で友だちとなかよくしている。	3.72	3.64	3.72	75%	22%	1%	1%



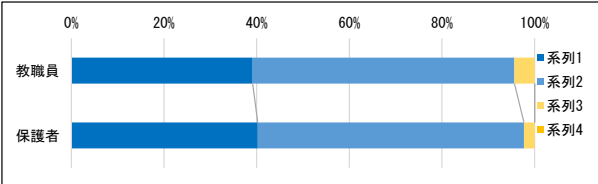
教職員・保護者・児童共々、昨年は全ての評価ポイントにおいて一昨年度より下げていたが、今年度はすべての項目において昨年度より上がっている。①②の肯定的な回答をした児童は97%と多く、ほとんどの児童が良好な友だち関係を築いているようである。一人一人にしっかりと向き合い、悩みを解決していけるように、スクールカウンセラーや心の相談員を活用した教育相談体制を更に充実させていったことが改善につながっていると考えられる。来年度も児童がよりよい友だち関係を築いていくためにはどうすればよいかということを各学級で学んでいけるような取り組みを積極的に行っていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
17	教職員	児童は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.48	3.55	3.31	52%	44%	4%	0%
	保護者	お子さんは、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.08	3.15	3.32	37%	41%	16%	7%
	児童	外で元気にあそんだり、運動したりしている。	3.39	3.37	3.35	58%	26%	12%	4%



昨年度に比べ、平均評価は保護者は0.07ポイント、教職員は0.07ポイント下げ、児童は0.02ポイント上昇している。本校では多くの児童が休み時間には校庭で元気に遊んでいるが、その一方で保護者や児童の回答にも反映されているように、教室や図書室で毎日過ごしている児童もあり、運動の好きな子と嫌いな子の2極化が進んでいる傾向にある。運動が好きな子どもを増やしていくためにも、日常の体育科授業の充実を図り、もみじ交流、業間のマラソンやなわとびの取り組みなどを通して児童の運動や遊びの時間を保障し、児童の体力向上にも努めていきたい。

No.	項目		R06年度 平均評価	R05年度	R04年度	評価別割合			
						①	②	③	④
18	教職員	学校の教職員はICTを積極的に活用し、楽しくわかりやすい授業づくりに努めている。	3.35	3.35		39%	57%	4%	0%
	保護者	学校の教職員はICT（デジタル機器、デジタル教材等）を積極的に活用し、楽しくわかる授業づくりに努めている。	3.38	3.38		40%	57%	2%	0%
	児童	学校でタブレットを使って勉強することが楽しい。	3.59			69%	23%	6%	2%



昨年同様、保護者の回答も肯定的な評価（①②合わせて97%）、教職員（①②合わせて96%）、児童（①②合わせて92%）のであった。東小教職員は一人1台端末の活用が始まって依頼、校内研修を積み重ね、ICTの有意義な活用を研究してきる。こうした取り組みの成果が結果につながったと考えられる。しかし、本校においては保護者への情報提供サービス等においてICT化に解決すべき課題もあり、来年度も業務の効率化を図っていかねばならない。また、子どもたちのためにも楽しく深い学びができるように教職員一同精進していかなければならない。

自由記述 2024

(教職員)

- 1 一人一人の先生が担任をしながらも、学校としてのチーム意識を持ち校務分掌も行っている。中堅の先生も多くとても助かった。ありがたいです。先生たちには若い先生も育ててほしい。

(児童)

- 1 宿題減らしてください。
- 2 歴史の授業が楽しいです！
- 3 特になし。
- 4 ちょっと早いけど6年間ありがとうございました
- 5 最近社会すごいです
- 6 特にありません。
- 7 特になし！
- 8 先生はいつも相談に乗ってくれる。
- 9 たのしい
- 10 社会のテストで100点を取ったのがうれしい
- 11 クラスで少し困った人がいます。完全ないじめじゃないので先生にも相談しにくいです。
- 12 “靴ずらしが起きた時に、やっていないのに周りが犯人だと疑って来た時、先生に相談したが、しっかり対応をしてくれずに話を流すような感じだった。
- 13 じゅぎょうをもう少し多楽しくやってほしいです。
- 14 楽しい
- 15 来年はなかよしのクラス替えをお願い致します。
- 16 楽しく学校行けています。ありがとうございます。
- 17 がっこうはたのしいです
- 18 だいじょうぶです
- 19 おいしい給食を毎日作ってくれてありがとうございます
- 20 勉強が楽しいです。
- 21 給食がいつもおいしいです
- 22 いつもありがとうございます
- 23 いつもありがとうございます。
- 24 いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- 25 “先生の授業は、面白いです
いつも楽しみにしています。”
- 26 これからも、たくさん先生とたくさん遊びたいです。
- 27 “授業が分かりやすく楽しいです。ありがとうございます。

(保護者)

- 1 担任の先生の言葉遣いが悪い。
- 2 陸上部の活動日数が少なすぎると思います。なぜこんなに少ないのか、顧問の先生はどうお考えなのか知りたいです。
- 3 多数の子供たちを指導するのは、とても大変だと思いますが、先生が指摘する時の、言い方がキツく感じて萎縮してるようです。難しいとは思いますが、少しだけでも配慮していただけないでしょうか？宜しくお願い致します。
- 4 持久走大会が記録会になってしまったのが非常に残念だった。不得意な子もいるだろうが、自分も子供の頃は不得意で、憂鬱だったけど、悲しかったりトラウマになったりするようなことはなかった。逆にその時の記憶は今となっては大ことな思い出のひとつになっている。辛いことを回避するのではなく、乗り越える機会が学校生活に少なくなっている気がする。辛いことを乗り越えるからこそ充実感があるわけで、充実感を得られない学校生活は段々楽しくなくなるのではないか。コロナ禍を経て子供たちの心が繊細になっていることは確かで、弱くなっている子供のケアはもちろんだが、何とか頑張っている子を認められる環境も必要であると思う。
- 5 いつも子供たちに寄り添って頂きとても感謝しています。
- 6 職員の言葉遣いには気をつけたほうが良いと感じます。保護者はお友たちではないので。
- 7 息子は学校が本当に楽しいようで、朝早く起き、早く学校に行きたい様子で登校し、毎日とても元気に帰ってきます。学校の雰囲気が良いのが息子からも伝わってきますし、行ことで学校に行くとても良い雰囲気を感じ取れます。
- 8 日頃のパソコンの持ち帰りを減らしてほしいです。家に帰ると宿題より学校のパソコンでYouTubeばかり見ているので、目が悪くなるのではないかと心配しています。対策してもらえるとありがたいです。宜しくお願いします。
- 9 連絡アプリの導入を検討していただけると助かります。近隣の学校でもスクリレ等の活用がありますので、ぜひお願いしたいです。
- 10 先生方の労働環境についてはわからないのですが、一般的な話を鑑みてより良くなることを望みます。また、子供たちがのびのびと育つ環境を作っていただけたらと思っています。いつもお世話になりありがとうございます。
- 11 直接子供に関する質問には答えられますが、その他の質問は回答しづらかったです。
- 12 授業参観だったから時間がなかったのかもしれませんが、前半の子供に答えさせる時間が長く、最後の問題を解いて丸付けする時間があまりにも少なく、間違っている本人が聞いてこない限り放ったらかしなのか不安に感じました。家でもわからない所は先生に聞いていいんだよと言っていますが、年齢的にも難しいのではないかと思います。 わからない所を質問できるような時間は学校の授業の時間としてとれないのでしょうか。
- 13 学校のホームページで、もっと子供たちの様子が分かるようになると良いなど、思います。持久走大会が、記録会に変わってしまったことはとても残念です。
- 14 これからは、小小交流からの小中交流に積極的に取り組んでほしいと思う。